

後期基本計画策定に係る若い世代との意見交換会（報告）

1 目的

第四次宮崎市総合計画後期基本計画の策定にあたり、次代を担う若い世代の意見を聴取し、計画策定に生かすことを目的とする。

2 対象者

宮崎市SAP会議の役員

宮崎商工会議所青年部の役員

宮崎市役所のインターンシップに参加した学生

3 報告事項

(1) 宮崎市SAP会議の役員 9名

日 時	平成 24 年 7 月 19 日(木) 20 時 ～ 21 時
個別目標	4-1-1 魅力ある農林水産物が安定的に生産・供給されている
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・市には就農しやすい環境を整えるため、就農希望者が農地を取得しやすくするなど、新規就農者への支援のあり方を検討して欲しい。 ・新燃岳の噴火による一時的な価格の下落はあった。自然災害への備えの重要性を感じた。 ・近年の燃料高騰の影響が大きく、燃料代の支援などが農産物の価格安定につながると考える。あわせて、省エネルギーへの対応が必要と感じている。 ・ブランド化については新たな展開も大切だが、これまでに確立されたものを維持、発展していく仕組みづくりも必要と感じている。 ・6次産業化への取り組みは、個人就農者にはハードルが高く感じるので、コーディネーターの活用などの情報発信を図り、身近な制度にすることが必要と感じる。 ・農産物の安全・安心への取り組みはある程度進んでいると感じており、今後は、これまでの取り組みをアピールしていく時期ではないか。

(2) 宮崎商工会議所青年部の役員 9名

日 時	平成 24 年 8 月 20 日(月) 16 時 ~ 17 時
個別目標	4-2-1 商業地に活気があり、にぎわっている 4-2-2 技術力をもった工業が盛んで、様々な製品が製造されている
主な意見	<ul style="list-style-type: none">・ 商工業や農業などに関わる団体がいくつかあるが、行政が仲介役をしていただくと、農商工連携の取り組みがより活発になると考えている。・ 連携に関しては、例えば産業支援財団の窓口を市の中心部に設置するだけで、利便性が高まると感じる。・ 観光やコンベンションなど、県外から人を集める工夫が必要と感じる。沖縄では市民全体にそのような意識が高い。宮崎でも県外からの誘客に対して、市民全体の意識啓発を図る必要がある。・ 中心市街地の取り組みとして、一番街は比較的うまくいっているが、若草通から広島通につなげる取り組みが必要と感じている。・ 徳島県では県内全域に光ファイバー回線を整備し、企業誘致を図っている。企業関係者の話では、誘致に係る補助金では宮崎と沖縄が高いレベルにあるが、産業インフラが弱い。・ 業種に関係なく、インターネット回線は不可欠であり、大容量回線（テラ単位）の整備など産業インフラを高めることで更なる企業誘致が可能となる。

(3) 宮崎市役所のインターンシップに参加した学生

33名：前期19名 後期14名

日時	前期：平成24年8月16日(木) 10時30分～12時 後期：30日(木) 10時30分～12時
個別目標	3-1-4 安心して子どもを産み、健やかに子育てできる環境が整っている
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における子育てを進めるために、地域の高齢者がボランティアで地域の子どもたちを見るようなシステムが作れないか。 ・出産後の母親の再就職支援や、企業における育児休暇取得を充実させる取り組みが必要と感じる。 ・親子で安心して外出できるための環境づくりとして、公園や道路の整備やバリアフリーを進めるべき。
個別目標	4-1-2 より多くの観光客が訪れる観光都市になっている
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・県外に住んでいるとPRが足りないように感じる。ツイッターやフェイスブックの活用も検討すべきではないか。 ・ゴルフやサーフィンなど、スポーツに特化した売込みが必要。 ・県内の公共交通機関が不便なので、観光地間のバス路線を充実すべき。また、海外からの誘客にLCCを誘致してはどうか。 ・清武町域の観光資源をうまく活用できないか。(安井息軒など) ・テレビや映画のロケを活用した取り組みができないか。